

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

課題研究Ⅰ（総合的な学習の時間）

（中学1年生）

テーマ 「生き方を探るⅠ」

- ・持続可能な開発のための教育（ESD）」との関わり

6年間の総合人間科の学びに共通して必要な学びの方法（スキル）について基礎から身につけさせる。記者会見ゲームを通して友達関係を見直すことを皮切りに、フィールドワークに出かける際のインタビューの仕方、アポイントメントの取り方、質問状・お礼状の書き方、レポート執筆や口頭発表（プレゼンテーション）の方法などを身につける。

（中学2年生）

テーマ 「生命と環境Ⅰ」

- ・持続可能な開発のための教育（ESD）」との関わり

上高地への林間学校を通して、「生命と環境」について興味関心を深め、研究の下地となる体験を行う。現地では、森林案内人の引率で小グループに分かれ自然を体験する。上高地の自然と地域での自然を比較し、自然の大切さを学ぶ

（中学3年生）

テーマ

- ・持続可能な開発のための教育（ESD）」との関わり

広島でのフィールドワークを通し、加害と被害について考える。また地元で生活する人たちから聞き取り調査を行い、決して終わることのない戦争について考えをまとめる。

課題研究Ⅱ（総合的な学習の時間）

（高校1年生）

スーパーグローバルハイスクール（SGH）の指定を受け、研究課題を3年間継続して行う最初の学年である。ものごとの本質を捉え、既存の問題と潜在的な問題の発見を行い、論理的・多角的に考える力を育成する。モンゴルと米国に設置したグローバル拠点を活用し探究活動を行う。具体的にはPBL(Problem Based Learning)の手法を用いる。高校1年生では、PBLの基礎を学ぶために設定された課題に対してPBL入門を行った。また、研究成果発表会を開催し、教育関係者をはじめ多くの参加者に成果と課題を発表し議論を行った。

(高校2年生)

テーマ 「国際理解と平和」

昨年度から始めた、PBLの成果を活かし、個人で研究テーマを設定し課題研究を行った。課題設定、課題解決の間に、第一次問題解決、第二次問題解決などのPBLの手法を入れ研究を深めた。また、研究成果発表会では生徒一人ひとりがポスター発表を行い参加者と研究内容を共有した。

また、学校設定科目「共生と平和の科学」では、ジェンダー、子どもの人権などについて参加型ワークショップ形式の授業を行った。

(高校3年生)

テーマ 「生き方を探る」

「持続可能な開発のための教育(E S D)」とのかかわり

現代的な課題から自分の進路に関わる課題を各自で設定し追及する。探究過程でフィールドワークをすべての生徒が行った。インタビューの結果を自分で分析し、研究収録を仮説及び動機、結論、検証方法、検証したことの順でまとめ3年間の総括を行った。

(グローバルコミッティ)

授業後に行う生徒活動である。TV会議システムを使ってモンゴルの高校生と環境問題について議論した。モンゴルの環境問題について、生徒の代表者が実際にモンゴルを訪問し、大気調査や水質調査を行い、その結果を現地の高校生と分析する活動を実践した。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()